

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)																					
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期																						
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	観光	①あゆを活用した旅行商品提供のための仕組みづくり	◎宿泊・観光事業者と連携したあゆ漁(友釣り、火振り漁、しゃくり漁、投網漁等)体験の旅行商品化及び他の河川アクティビティ(SUP等)との連携による体験メニューの拡充	1	火振り漁見学のメニュー化 体験型観光の拡大を目指して、観光業界と漁協の連携を強化	※四万十市 四万十市観光協会 (遊覧船組合) 四万十川中央漁協	遊覧船等観光業界への働きかけ、調整				火振り漁見学のメニュー化 ↓ メニュー化1件																					
								2	体験メニューの商品造成及び実施 令和4年度に造成した観光庁補助事業(サステナブルな観光コンテンツ強化モデル事業)での体験メニューの実施、新メニューの造成。	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊	友釣り体験及び火振り漁見学メニューの実施(6月~10月上旬)		事業の検証、改善点等の検討、来年度に向けた改良		体験メニューの実施 2件 ↓ 3件以上																		
											新メニューの造成に向けた検討					あゆ関連の旅行商品数 0件(R4) ↓ 1件(R5)																	
											3		【新規】体験メニューの商品造成を支援 ・集落活動センターなかやまによる安田川でのあゆの友掛け体験メニューの城西館「とき恋ツアー」での商品化・実施に関するフォローアップ	※計画推進課(安芸地域本部) 集落活動センターなかやま 安田町			あゆの友掛け体験メニューのフォローアップ				体験メニューの実施 2件 ↓ 3件以上												
																	実施主体との協議		体験メニューの実施(6/10~9/30)														
																	4	体験メニューの商品造成 ◎キャンプ場であゆ漁体験及びあゆバーベキューができる仕組みづくり	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花 夢 他町内の管理者が常駐するキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 0件 ↓ 1件以上									
																				5		体験メニューの商品販売 R4に造成したメニューの活用、新メニューの造成(再掲)	※四万十町 四万十まちおこし応援団 地域おこし協力隊		友釣り体験及び火振り漁見学メニューの実施(6月~10月上旬)		事業の検証、改善点等の検討、来年度に向けた改良		体験メニューの実施 2件 ↓ 3件以上				
																									新メニューの造成に向けた検討								
																									6	あゆ漁インストラクターの育成 ◎あゆ漁インストラクターや環境学習ガイダンスを担う人材の育成	※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議委員会と協議		インストラクター育成の要望確認		インストラクターの派遣 ↓ 1名以上	
																												友釣り連盟等による講師派遣の検討					
																												7		入川道の整備 ◇駐車場や入川道等の整備	※四万十町 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合		入川道の維持管理、看板設置等
活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討																																	
8	トイレ設置場所の案内 ◇トイレ案内マップの作成	※四万十町 四万十川財団	川遊びマップの配布等によるトイレ設置場所の案内		活用可能な土地の整備等の検討、予算計上の検討		仮設トイレの設置 検討の継続 ↓ 設置の方向性の決定																										
			漁協等との調整、予算計上の検討																														
			9	観光客向けの情報発信 ◎県の観光博覧会と連携したあゆを活用した自然・体験型観光商品や飲食店情報の発信	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会	高知県観光情報サイト「こうち旅ネット」(高知県観光コンベンション協会運営)内の体験プログラム検索ページ等において、あゆ漁体験などを含む自然・体験型観光商品等を発信(4月~)				No.2~No.4及び No.7の目標と同じ																							
						10		あゆを含む高知の食のPR ◎都市圏などで開催される観光イベントでのあゆのPR	※観光政策課 高知県観光コンベンション協会		都市圏などで開催するマスコミとの情報交換会や旅行会社向け観光説明会においてあゆを含む高知の食をPR(6月頃~12月頃)				季節に合わせ、情報交換会等で紹介																		
											11	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載 ◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信	※四万十町 町内飲食店	町HPへのあゆ提供飲食店の掲載と情報更新				町HPへあゆ提供飲食店を掲載 8店舗 ↓ 掲載可能なあゆ提供飲食店全店舗の掲載															
														12		【新規】あゆフェア及びPRイベントの開催 ◎あゆを提供している飲食店情報のリスト化及び情報発信	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会		企画提案(プロボ)		あゆフェア参加飲食店への周知(5~6月)		あゆフェア開催店舗数 ↓ 50店舗以上										
																			あゆが食べられる県内飲食店でのあゆフェアの開催(7~9月) (プレゼントキャンペーンも併せて開催)		フェアの効果調査												
																			HP等での飲食店情報の発信														
																			あゆPRイベントの開催に向けた調整・準備		日曜市に合わせたあゆPRイベント開催			PRイベントの効果調査									

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)	
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期		
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	①観光客にあゆを食べてもらう仕組みづくり	◎宿泊施設や飲食店での個人観光客向けの利きあゆ会の実施 ◇キャンプ場やアクティビティ施設等と連携した観光客へのあゆの提供	13	日曜市でのあゆの販売	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川漁業振興協議会 道の駅よって西土佐	日曜市での販売に向けた関係者との協議・調整(たびひろマーケットでの出店も検討)				日曜市でのあゆの販売 ↓ 販売の実現	
						14	利き鮎会及び食味会の開催	※四万十市 四万十川の各地(本流、目黒川、黒尊川、藤ノ川、大正芳川等)でとれる鮎を比べ、味の違いの体感や、美味しさを競い合う	開催に向けた調整	利き鮎会開催(10月中)	食味会及び利き鮎会の開催 2回開催 ↓ 1回開催		
						15	観光等複合拠点へのあゆの提供	※嶺北漁協	ハーベストテラスでのあゆの提供	出荷準備(解禁日まで)	あゆの出荷供(6月～10月)	来年度のあゆの漁獲にかかる電源会社との協議	アユの出荷数 100匹 ↓ 200匹
						16	あゆ及び加工品の販売	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	道の駅での焼きアユ販売	地域内施設と連携したあゆ及び加工品の提供	新商品の開発件数 1件 ↓ 1件		
						17	キャンプ場でのあゆの提供	※四万十町 町内飲食店	あゆ提供の情報発信と提供場所の追加に向けた協力依頼等の実施	あゆの提供数 0件 ↓ 10件			
						18	能津地区来訪者への高知県産鮎料理の提供	※能津集落活動センターミライエ 屋形船仁淀川	鮎の新メニュー開発(～5月)	開発した鮎料理の販売(鮎の在庫が無くなり次第終了)	鮎料理提供数 250食 ↓ 250食		
						19	販売イベントの開催	※四万十町 町内飲食店	イベントの開催に向けた調整	あゆを用いた食の販売イベントの開催	あゆを用いた食の販売イベントの開催	イベントの開催回数 3回 ↓ 3回以上	
						20	県外での販売促進	※四万十町	町地産外商室による販売促進活動	販売促進の取組の実施 バイヤーの招へいの実施 ↓ バイヤーの招へいの実施			
						21	「高知家の魚応援の店」への外販活動	※水産業振興課 地産外商公社	「高知家の魚応援の店」への営業活動の実施	県内参画事業者の情報収集	産地見学会(2回・36店舗)・産地招へい(10社)の実施	県産水産物試食商談会の実施	あゆを扱う県内参画事業者の商談会等への参加 5回 ↓ 5回
						22	四万十川のあゆの販売拡大	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	実店舗での天然アユ提供	豊洲市場への活アユ等出荷	豊洲市場へのあゆ出荷量 130.7kg ↓ R4同程度の量を出荷		
						23	あゆのプロモーション	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	あゆの解禁にあわせてメディアを集めた試食会(あゆのフルコース提供)開催(6月)◎高知と連携	利きあゆ大会に向けた情報発信(7、8月)	あゆの加工品PR(1月)	情報発信 3回 ↓ 3回	
						24	あゆフェアの開催	※地産地消・外商課 地産外商公社 水産業振興課	企画立案・調整	①レストランであゆのフルコース提供 ②あゆフェア(加工品)	店舗プロモーション活動 0回 ↓ 1回		
						25	各種イベント等でのあゆの塩焼きの販売	※四万十市 四万十川西部漁協 道の駅よって西土佐	各種イベント等での天然アユ販売	イベントへの出店回数 8回 ↓ 10回			
		26	漁協によるイベントへの出展	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	高知市中央公園等で行われる食のイベントへの出展(豊稔祭、ふるさとまつり、土佐のおきやく等)	豊稔祭、ふるさとまつり	土佐のおきやく	イベント参加回数 5回 ↓ 3回以上					
					②県外の飲食店で高知のあゆを食べてもらう仕組みづくり	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの販売促進							
					◎「まるごと高知」を活用した高知のあゆのプロモーション活動の展開								
					③高知県民があゆを食べる機会づくり	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供							

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	食	③高知県民があゆを食べる機会づくり	◎県内イベントでのあゆのPR及び提供	27	【新規】あゆフェア及びPRイベントの開催 あゆが食べられる飲食店等でのあゆフェアの開催及び日曜市に合わせたあゆPRイベントの開催(再掲)	※水産産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	企画提案(プロボ)	あゆフェア参画 飲食店への周知 (5~6月)	あゆが食べられる県内飲食店でのあゆ フェアの開催(7~9月) (プレゼントキャンペーンも併せて開催)	フェアの効果調査		あゆフェア開催店舗数 ↓ 50店舗以上	
								HP等での飲食店情報の発信				あゆPRイベントの開催に向けた調整・準備		日曜市に合わせたあゆPRイベント開催
				◎食育授業でのあゆの活用	28	学校給食へアユ提供 四万十町内の小中学校・高校の給食へのあゆの提供	※四万十町 町内小・中学校、高校 給食センター	町内小中学校・高校の給食へのあゆ提供					給食でのあゆの活用 1回以上 ↓ 1回以上	
								29	食育授業でのあゆの提供 食育授業の食材にあゆを活用し、 県内小学校等の児童及び保護者に対して、 関心喚起につながる学習と調理実習・試食を実施	※水産産業振興課 学校給食会 漁協	学校給食会との協議 (4月)	小学校等での食育授業の実施(6月~12月)		
				漁協等への食材購入に係る協力依頼										
				④調理方法や食べ方の提案によるあゆの利用促進	30	◎宿泊施設や飲食店での塩焼き以外の多彩なメニュー(あゆ寿司、あゆ飯、一日干し、落ちあゆの塩煮等)のPR及び提供	※奈半利川淡水漁協 ホテル奈半利	あゆの提供について協議	あゆ料理の提供開始		来年度に向けた改善の検討	新たな出荷先の開拓	宿泊施設等へのあゆの提供尾数 850匹 ↓ 850匹	
		31	◎宿泊施設や飲食店でのあゆメニュー開発・提供 馬路温泉をはじめとする宿泊施設や飲食店において、あゆを活用したプランやメニューを開発し、利用客に提供					※馬路村 (一社)馬路温泉運営協会	プラン・メニューについて協議	開発したプラン・メニューの提供		利用者の意見等を取り入れながら、プラン・メニューの改善	シーズンの振り返りと来期に向けての改善	馬路温泉あゆ活用プランの宿泊者数 (アユフルコース) 112名 ↓ 150名
									新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供			
		◇協力店舗による和洋中を問わない新たな料理の開発	32	◎あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施	※四万十町 委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供		新メニューの提供品数 1回 ↓ 2種類以上				
						33	◎あゆづくしランチでの新メニューの提供 アユづくしランチなどでの塩焼き以外のメニューでの提供の実施(再掲)	※四万十町 委託事業者 町内飲食店	新メニューの開発に向けた調整	新メニュー提供	新メニュー提供	新メニューの提供品数 1回 ↓ 2種類以上		
		釣り	①子どもたちがあゆに親しむことができる環境づくり	◎子ども向け釣り教室等の開催	34	◎子供が楽しめる体験メニューの提供 あゆつかみ取り体験、投げ網体験等、子供が楽しみながらあゆに親しめる体験メニューの提供	※四万十市 四万十川西部漁協 四万十川中央漁協 四万十川漁業振興協議会	季節に応じて、つかみ取り体験、投げ網体験を実施				体験メニューの商品化 ↓ 1件		
◎幼稚園等でのあゆのつかみ取り体験等の実施	35							◎あゆのつかみ取りの実施 幼稚園児等を対象としたあゆのつかみ取りの実施	※奈半利川淡水漁協	幼稚園単位での開催に向けた調整	あゆのつかみの開催 (3~4回程度)		参加児童数 2回180名 ↓ 3回200名	
				36	◎あゆのつかみ取りの実施 あゆまつりでのあゆのつかみ取り(小学生以下)の実施	※四万十町 アユまつり実行委員会	あゆまつりの開催に向けた調整・協議			あゆまつり開催	つかみ取り実施回数 0回(イベント中止) ↓ 年1回の開催			
◎友釣り体験等の実施	37						◎友釣り体験等の実施 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等に向けた調整・実施	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整	友釣り体験の実施(8回)	次年度の開催に向けた検討	友釣り大会の開催回数 0回(イベント中止) ↓ 友釣り体験年8回の開催		
				②県内遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	38	◎あゆ漁インストラクターの育成 インストラクターの育成に向けた協議(再掲)			※協議会 高知県友釣り連盟	取り組み内容について協議会委員と協議	インストラクター育成の要望確認	友釣り連盟等による講師派遣の検討	インストラクターの派遣 ↓ 1名以上	

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	釣りに関する取り組み	②県内遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎若い世代(特に女性)をターゲットとした簡易な服装や道具で友釣りができるライトスタイルの提案及び広報	39	ライトスタイルの提案及び広報 釣具屋、関係団体と連携したライトスタイルの提案及び広報(要調整)	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議 → 関係団体等と連携したSNSでの情報発信				(今後設定)
				◎祖父世代から孫世代への釣り文化や釣り道具の継承に向けたイベントの開催	40	釣り道具の継承 釣り文化や釣り道具の継承に向けた検討	※協議会	協議会委員や関係団体等との取り組み内容の協議 → イベント等の実施				(今後設定)
				◇あゆ釣り師養成講座の開講	41	友釣り体験等での講師依頼 友釣り体験、四万十川友釣りイベント等での講師依頼	※四万十町 友釣り連盟 日本釣振興会高知県支部 高知県釣具商組合 四万十川漁業協同組合連 合会、四万十川上流淡水 漁業協同組合 他	開催に向けた調整 → 友釣り教室開催(漁期期間中) → 次年度の開催に向けた検討				友釣り教室の開催回数 0回(イベント中止) ↓ 友釣り体験年8回の開催
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	42	川漁体験の実施 四万十川財団が開催する川漁大人塾への協力	※四万十町 四万十川財団	川漁体験としての大人塾開催への協力(うなぎ漁) → 川漁体験としての大人塾開催への協力(あゆ漁8、9、10月) → 結果の検証				あゆに関する大人塾開催回数 7回 ↓ 6回
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	43	四万十川で釣ったあゆの大きさを競う大会を開催	※四万十市 西土佐商工会青年部 四万十川西部漁協	開催に向けた調整 → 大会開催(8/1~10/15)				大会の開催 第1回開催 ↓ 第2回開催
		③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◎電子遊漁券の導入拡大や共通遊漁券の設定	44	漁協による電子遊漁券の導入支援 電子遊漁券の導入の検討(四万十川上流淡水漁協)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協 同組合	電子遊漁券の導入の検討 → 導入のための支援制度の紹介				電子遊漁券の導入 未定 ↓ 導入の意思決定	
				◎キャンプ場であゆ釣り体験及びあゆバーベキューが出来る仕組みづくり(再掲)	45	キャンプ場でのあゆの提供 ・オートキャンプ場ウエル花夢で予約制であゆの提供の実施	※四万十町 オートキャンプ場ウエル花 夢 他町内の管理者が常駐す るキャンプ場	予約制でのBBQセットへのアユ提供				体験メニューの商品化 0回 ↓ 1件以上
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	46	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。	※高知市	契約準備、契約 → 事業告知、受講 → 第1回~4回講座 → 業務報告等				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	47	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わり等の促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。 ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市	コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年) → 業務報告等				関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回
				◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	48	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組 合	四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信 → 四万十川東部漁協HPIによるあゆ釣果情報等の発信				情報発信の実施 町HPでの情報発信 ↓ 町HPでの情報発信の実施
③県外遊漁者の増加に向けた仕組みづくり	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信	49	【新規】あゆ釣り全国大会の誘致 ・高知県友釣り連盟と連携した釣り具メーカー主催のあゆ釣り全国大会の誘致	※仁淀川漁協 水産業振興課 高知市 土佐市 いの町 日高村 佐川町 越知町 仁淀川町	全国大会西日本ブロック大会に向けた準備 → 全国大会(西日本ブロック大会開催(仁淀川:7/22)) → 全国大会(群馬県)視察(8/25~27) → 関係者への情報共有 → 全国大会招致に向けたメーカーとの調整(本部会場や宿泊先など)				全国大会の誘致 ↓ 1大会 全国大会 西日本ブロック大会開催			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱1 高知のあゆに触れられる機会づくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
1	高知のあゆに触れられる機会づくり	情報発信	①SNSやイベントを活用した情報発信	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供	50	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)		フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗			
				◎観光コンベンション協会等の団体やあゆに関わりの深い著名人と連携したSNSによる情報発信	51	県産あゆの効果的な情報発信 あゆが食べられる飲食店等の情報収集・発信やインフルエンサーと連携したSNSでの県産あゆの情報発信等を実施(再掲)	※水産業振興課 地産地消・外商課 観光政策課 地産外商公社 観光コンベンション協会	あゆが食べられる飲食店等情報のHP等での情報発信	企画提案(プロボ)	県SNS及びインフルエンサーによるSNSでの情報発信(6~10月)	インフルエンサーによるTVでの情報発信(放送日未定)	作業部会(情報発信関連)の開催による効果的な情報発信の検討、実施	関東のメディア向けPRイベント開催(6月)	関西のメディア向けPRイベント開催(7月)	SNS・HPでの記事・動画閲覧数 70万件以上 ↓ 70万件以上
				◎観光コンベンション協会等の団体やまるごと高知と連携したイベントによる情報発信	52	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産業振興課 地産外商公社	県内参画事業者の情報収集	フェア参加店舗の募集、 フェアメニューの開発・決定	高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)					フェアであゆを提供する 飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
				◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催	53	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信	※馬路村	漁期前の川の状況を発信	あゆ漁の風景を撮影(写真・動画)	あゆ漁の写真及び動画をInstagram、ホームページで発信	あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信				Instagramを活用したあゆに関する情報発信数 3回 ↓ 10回以上
					54	【新規】内水面漁業に関する研修会の開催 2年に1回、内水面関係に造詣の深い大学等の研究者を招へいし、講演会を実施。	※水産業振興課 内水面漁業センター 漁協 市町村 県			研修会に向けた準備	研修会の開催				研修会の開催(隔年開催) 0回 ↓ 1回
					55	【新規】清流めぐり利き鮎会を活用した情報発信 全国の河川のアユを集め、食べ比べによる審査を行い、その年のグランプリを選出・表彰する。オープニングであゆ王国の取組をPRする。	※高知県友釣連盟 水産業振興課	エントリー河川の募集・参加調整(4.5月)	開催要項の発送(6月)	一般募集案内(7月)	一般募集開始(8月)	・9月15日(金)開催 ・あゆ王国の取組をPR	エントリー先への礼状、表彰状等の発送		来場者数 110名 ↓ 200名以上
					56	◇関係機関と漁協が連携した各河川のあゆに関する情報発信(再掲)	※高知市	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。講座の中で、受講生の取材先として漁協を設定することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。また、鏡川のプロモーション活動を実施することで、あゆに関する情報を発信する。(再掲)		契約準備、契約(4月~6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回~4回講座(7月~2月)	業務報告等(3月)		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回
					57	電子地域ポイントを活用した情報発信 鏡川流域関係人口ネットワークインフラ(電子地域ポイント)提供業務において、電子地域ポイントシステム(まちのコイン「ぼっちり」)を活用して、鏡川に関する体験の創出、鏡川に対する多様な人材の関わり等の促進等に取り組む。漁協をスポット登録し、漁協に関する体験チケットを発行することで、漁協の取組(あゆに関する取組等)の周知を図る。(再掲) ※高知市は「まちのコイン」の運営団体	※高知市		コインの配布、回収、スポット申請の承認、スポット及びユーザーの開拓等(通年)				業務報告等		関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回
	58	流域関係者で組織する協議会を活用した情報発信 流域漁協、行政での協議組織(漁業振興協議会)を活用した各調査結果等の情報発信(再掲)	※四万十町 四万十川漁業振興協議会 四万十川東部漁業協同組合		四万十川漁業振興協議会を活用した情報発信		東部漁協HPIによるあゆ釣果情報等の発信				情報発信の実施 町HPでの情報発信 ↓ 町HPでの情報発信の実施				

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱2 高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	
2	高知のあゆで外貨を稼ぐ仕組みづくり	加工・流通販売	①県内各河川のあゆを一元的、安定的に供給するための流通体制の構築	◇集出荷システム及び冷凍加工体制の構築	1	【拡充】集出荷体制の構築及び冷凍試験の実施 安定的な販売と魅力的な商品づくりに向けて複数河川のあゆを集出荷できる体制の構築を及び冷凍試験の実施	※協議会	作業部会における前年度の取り組みの検証と冷凍あゆの集出荷販売の実施 冷凍試験内容の協議 → 冷凍試験の実施 → 商談会への出展(8月) → 商談会への出展(2月)				商談会への出展 0回 ↓ 2回
				◇県内の商品を扱う地域商社などとの連携	2	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四十町	地域商社と連携したイベントや商談会への参加				地域商社と連携した商談による成約件数 0件 ↓ 1件以上
			②高知県のあゆのブランド化と県外へのPR及び販売	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供(再掲)	3	「高知家の魚応援の店」での高知フェアの開催 全国350店舗の「応援の店」での高知フェアでのメニュー提供や情報発信を実施(再掲)	※水産振興課 地産外商社	県内参画事業者の情報収集 → フェア参加店舗の募集、フェアメニューの開発・決定 → 高知フェア(全国350店舗)の開催(9~2月)				フェアであゆを提供する飲食店数 1店舗 ↓ 3店舗
				◎複数河川のあゆ食べ比べセットの商品化及び個人向け販売	4	あゆ食べ比べ商品の開発 あゆの認知度向上や取引拡大につなげるため、食べ比べセット等の商品化に取り組む	※協議会	作業部会における前年度の取り組みの検証と取り組みの再検討など				(今後設定)
			◎県や地産外商社が主催・出展する商談会への参加による販路の確保及び拡大	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供(再掲)	5	商談会への参加 県や地産外商社が主催する商談会への参加	※四十町	町地産外商社の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				商談会への参加 7回 ↓ 1回以上
					6	商談会への参加による販路開拓・販売拡大 高知県(地産地消・外商課)、高知県地産外商社主催の商談会に参加して、販路開拓や販売拡大につなげる <令和4年度> ○土佐の宴(大阪市):9月27日 ○県産品商談会(高知市):10月26日 ○土佐の宴(名古屋市):11月1日	※地産地消・外商課 あゆ関連事業者 水産振興課 地産外商社	○9月27日:土佐の宴(大阪) → 出展者募集(約2か月前から) → ○10月26日:県産品商談会(高知) → ○11月1日:土佐の宴(名古屋) → (県・公社)協議会への情報共有(協)参加希望事業者からの申込 → 商談会出展 → (県・公社)商談後のフォローアップ				商談会開催回数 3回 ↓ 3回
			◇地域商社等と連携した加工品の開発や外商活動	◎「高知家の魚応援の店」を活用した高知のあゆの発信及び提供(再掲)	7	豊洲市場への活あゆ出荷 豊洲市場への活アユ等の出荷を継続(再掲)	※四十市 四十川西部漁協 道の駅よつて西土佐	豊洲市場への活アユ等出荷				豊洲市場へのあゆ出荷量 130.7kg ↓ 130.7kg
					8	県外での販売促進 ・地域商社と連携したあゆの販売促進活動の実施(再掲)	※四十町	町地産外商社の行う県外での営業活動であゆの取扱量を増やしていく(再掲)				地域商社と連携した商談による成約件数 0件 ↓ 1件以上
			③消費者と直接つながる販売チャネルの創出及び長期的なファンづくり	◎流域市町村におけるふるさと納税返礼品への利用拡大	9	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※奈半利川淡水漁協	あゆの確保に向けた生け簀の整備 → ふるさと納税での提供の開始(北川村、奈半利町:6月から開始) → 次年度に向けた、集荷体制等の検討 → ふるさと納税への提供に向けた協議				ふるさと納税でのあゆの出荷尾数 350尾 ↓ 350尾
					10	ふるさと納税でのあゆ加工品の出品 道の駅と連携してアユ加工新商品の開発を行うとともに、ふるさと納税返礼品としての出品を継続	※四十市 四十川西部漁協	アユ加工品の開発、ふるさと納税返礼品への出品				新商品の開発件数 1件 ↓ 1件
					11	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※馬路村	出品時期・数量について協議 → 出品準備 → あゆを返礼品として提供(漁獲状況により提供期間を決定する)				ふるさと納税寄付件数・金額 17件・17万円 ↓ 20件・20万円
					12	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※仁淀川町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数 126件 ↓ 150件(119%)
					13	ふるさと納税でのあゆの提供 ふるさと納税の返礼品に地元で獲れたあゆを出品	※四十町	ふるさと納税でのあゆの取扱量を増加させるためのPR等の検討				ふるさと納税寄付件数(あゆ・あゆ加工品) 437件 ↓ 467件
					14	◎あゆに関する情報の定期的な発信やシンポジウムの開催(再掲)	SNSやHPを活用した定期的な情報発信 村のInstagram、ホームページを活用し、あゆに関する情報を定期的に発信する。(再掲)	※馬路村	漁期前の川の状況発信 → あゆ漁の風景を撮影(写真・動画) → あゆ漁の写真及び動画をInstagram、ホームページ → あゆに関する情報(料理、レストラン、漁期等)をInstagram、ホームページで発信			

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱3 高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取組む項目 ◇長期的に取組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)			
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期				
3	高知の川遊びの文化を維持する仕組みづくり	体験・教育	①子どもたちが川に親しむ学習などの実施	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	1	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約 (4月～6月)	事業告知、受講生募集等(7月)	第1回～4回講座 (7月～2月)	業務報告等 (3月)	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回			
						2	漁業体験及び環境学習の実施 ・市内小学校が実施する環境学習に講師(四万十川財団)を派遣し、環境学習を支援 ・市内小・中学生とその保護者を対象に、四万十川中央漁業協同組合協力のもと、あゆのつかみ取り・投網漁体験を実施	※四万十市 四万十川財団 四万十川中央漁協 四万十川西部漁協	環境学習支援事業	親子川漁体験	親子体験教室の開催 ↓ 1回以上開催				
						3	【新規】環境学習の実施 ・土佐山学舎の4年生を対象とした、鏡川に関する環境学習を年4回実施。	※高知市 土佐山学舎	環境学習の実施(9月中にアユの友釣り漁、しゃくり漁を体験)	環境学習の実施 毎年4年生を対象に実施					
						4	地域学習への川漁や環境学習の導入 協働の川づくり事業による中学生の地域学習への川漁や環境学習の導入(四万十川財団)	※四万十町 四万十川財団 地域住民	水生生物調査や環境学習を通じた川との関わりへの協力 四万十川支流での通年で水生生物の生息状況調査	環境学習の実施 要望のある全ての学校で実施 ↓ 要望のある全ての学校で実施					
						5	環境学習会の実施 学校と連携し、環境学習会を実施(物部川、仁淀川、四万十川流域)	※自然共生課 舟入小学校 越知小学校 越知中学校 衛生環境研究所 中村高校西土佐分校 (公財)四万十川財団	実施内容協議 → 実施 実施内容協議 → 実施	5校 ↓ 5校以上					
						6	◎あゆ人工種苗放流体験の実施 あゆ種苗放流の一部を村内保育所の児童による放流体験とする。	※馬路村 馬路保育所 安田川漁協	放流の方法、安全管理の協議 → 放流体験の実施	体験回数 1回 ↓ 1回					
						7	あゆ放流体験の実施 あゆ放流の一部を村内小学校の児童による放流体験として実施。	※三原村 三原村商工会 三原小学校	放流時期等の協議 → 放流体験の実施	体験回数 1回 ↓ 1回					
						8	②大人の学習・体験機会の創出 ◇あゆや河川資源を題材とした文化教育イベント(俳句・絵画・写真・書道展、環境学習展)の開催	◎学校、地域、漁協、行政の連携による漁業体験及び環境学習の実施	関係人口の創出と情報発信 鏡川流域関係人口創出・拡大業務において、鏡川流域関係人口講座を開催し、鏡川流域の自然を生かした多様な関わり方を実行できる人材を育成するとともに、受講生のコミュニティを構築する。学校、地域、漁協、行政と連携して講座を実施するとともに、受講生自身に鏡川流域への関わり方を考えてもらうことで、あゆの河川資源等に親しむ機会を創出する。(再掲)	※高知市	契約準備、契約	事業告知、受講	第1回～4回講座	業務報告等	関係人口(鏡川流域の自然資本を含む地域資源に人が関わる回数) 2,103回 ↓ 4,000回
						9	◎漁協や企業と連携した産卵場造成体験、産卵見学会、遡上観察会等の実施とあゆオーナー制度の導入	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁業協同組合	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集 オーナーへのあゆの提供	オーナー制度参加者数 16人 ↓ 50人				

あゆ王国高知振興ビジョン進捗管理表(柱4 高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり)

柱No	ビジョンの柱	取り組み項目	取り組み方針	具体的な取り組み ◎優先的に取り組む項目 ◇長期的に取り組む項目	番号	取り組みの概要	実施主体、関係機関 (※は進捗管理所属)	令和5年度				現状値(R4) ↓ 到達目標(R5)		
								第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期			
4	高知のあゆを持続的に活用するための仕組みづくり	資源回復・保全	①あゆ資源の持続的活用に向けた資源回復・保全策の実施	◎流域全体の総意に基づく資源回復策の実施に向けた関係者間の協議	1	官民一体となって河川資源回復の取り組みを実施 四万十川漁業振興協議会が中心となり、行政、学識経験者等の協力を得て、河川環境改善、資源回復に向けて取り組む	※四万十市 四万十川漁業振興協議会	高知県へ要望書の提出	資源回復に向けた取り組みの検討			取り組みの検討 ↓ 取り組みの方向性の決定		
						2	基礎調査の実施と関係者による協議 資源回復のための基礎調査の実施と情報共有、漁業振興協議会での流域内漁協と行政での意見交換	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	中期的な資源調査の実施と、調査結果に基づく回復策についての提案・協議の場の設定				協議会の開催 1回 ↓ 1回	
						3	【新規】資源調査・種苗生産用の親魚養成の実施 各河川の流下期及び遡上期の資源状況調査を行い、県内各漁協と情報共有・発信を行う。また、遺伝的多様性の高い県産人工種苗「土佐のあゆ」を生産・放流するための親魚候補の確保と育成を行う。	※内水面漁業センター 漁協 水産業振興課	県内各河川での遡上量調査(4-5月)	放流用種苗親魚養成(3月~10月) ※親魚養成用天然種苗の確保(2-3月に実施)	県内各河川での遡上量調査(2~4月)	親魚養成用天然種苗の確保(3月)	各調査及び親魚養成の実施 毎年実施	
						4	産卵場整備 環境・生態系保全対策事業費交付金を「鏡川環境保全の会」に交付し、産卵場整備の実施状況等の確認等を行う。	※高知市 高知県 鏡川漁業協同組合	計画承認(4月)	交付決定(5月)	体験学習会(実施状況確認)(9月)	堆積土砂整備、河床の攪拌による瀬と淵の効果の検証(実施状況確認)(10月)	実績報告等(2月~3月)	整備面積 5,595㎡ ↓ 5,595㎡(現状維持)
						5	【新規】ドローンを活用したカワウ対策の実証試験の実施 カワウ対策の実証試験の実施	※四万十町 委託事業者 四万十川東部漁業協同組合 四万十川上流淡水漁業協同組合	カワウ追払いの実施				カワウ駆除数 55羽 ↓ 46羽以上	
						6	あゆオーナー制度の実施 四万十川上流淡水漁協によるあゆオーナー制度の実施(再掲)	※四万十町 四万十川上流淡水漁業協同組合	あゆオーナーの募集				オーナー制度参加者数 16人 ↓ 50人	
						7	あゆ人工種苗放流の継続に向けた関係団体との協議 あゆ人工種苗放流量の増加に向けて関係団体との協議を実施	※水産業振興課 内水面漁業協同組合連合会 漁協 市町村	種苗生産の現状を整理	関係団体への説明			要望調査等の実施	市町村等によるあゆ種苗放流量 33.2トン ↓ 34.0トン
						8	あゆ資源回復に向けた検討 鏡川清流保全環境調査委託業務により、鏡川におけるあゆの遡上状況及び産卵場の調査を行い、あゆ資源回復に向けた対策を検討	※高知市 鏡川漁業協同組合	入札、契約(4月)	中間報告(6月)	あゆの産卵場調査(11月)	最終報告等(2月~3月)	天然あゆ遡上数 約9.4万尾 ↓ 50万尾	